

2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 花尾中学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	花尾中学校 ・第3学年・3クラス・105名 ・第2学年・3クラス・119名 ・第1学年・4クラス・126名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科等名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	○ボッチャを体験することで、共生社会について考え、人権意識を高め、障害の有無に関係なく誰もが気持ちよくスポーツを楽しむ心を養う。
5 取組内容	<p>〈昨年度の取り組み〉 車椅子テニス日本代表の二条美穂氏の講演と体験学習 ○リオパラリンピック車椅子テニス日本代表の二条美穂氏の講演を聞いたり、競技用車椅子の使用体験をしたりすることで、東京2020大会に向けた機運醸成を図った。また、車椅子を使って生活する苦労や工夫を知り、傷害をもった方たちとの共生社会について考えることができた。</p> <p>〈事前学習①〉 (1) オリンピック・パラリンピックの歴史を知ろう。 ・オリンピック・パラリンピックの動画や資料を活用して、教師が解説した。 (2) 「ボッチャ」について調べよう。 ・タブレットを使って、ボッチャについて調べた。</p> <p>〈体験学習②〉 (1) 「ボッチャ」を体験してみよう。 ・調べたルールで実際にボッチャを体験した。</p>



(2)「ボッチャ」から学んだことを伝え合おう。
 ・ボッチャを通して、感じたことをグループで伝え合った。



	  <p>(2)「ボッチャ」から学んだことを伝え合おう。 ・ボッチャを通して、感じたことをグループで伝え合った。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>○オリンピック・パラリンピックへの理解や関心を高め、スポーツの楽しさや努力することの大切さを学ぶことができた。自分の得意な競技だけではなく、日頃の健康や体力の増進を振り返る機会となった。</p> <p>○「ボッチャ」の競技を通して、誰もが気持ちよく楽しめるスポーツのよさに気づき、自分自身もスポーツを楽しもうとする心情を養うことができた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○事前にタブレットを活用し、ルールや道具の使い方を調べ、まとめることでスムーズにボッチャを体験することができた。</p> <p>○ボッチャの道具も5セットあるため、有意義に活動することができた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○時間に余裕があり、様々な制限がなければ、体験型の講演会を計画的に実施できるとよい。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○今年度は、時間等の様々な制限がある中での実施であったため、計画通りにはいかなかった。来年度は、体験型の講演会等を実施し、オリ・パラ東京大会への機運醸成を図るとともに、インクルーシブな社会の構築、スポーツを楽しむ心の醸成を図っていきたい。</p>